

- 国語**⇒必要な情報を読み取って、簡単な文章に表すことに抵抗感なく取り組めるようになった。しかし、相手に伝える・伝わるよさを実感できていないため、内容を分かりやすく詳しく書くことに課題が残った。
- 社会**⇒実生活において「もしも」の状況を想定させながら、その施設や設備が必要な理由を考えられるような学習課題を取り入れることで、学習意欲を保って学習できた。めあてに対するまとめ方に課題が残った。
- 算数**⇒実際の生活の中で算数が活用される場面を学習課題として用いるようにしていくことで、なぜ学ぶかを明確にでき、主体的に取り組む姿勢が見られた。課題は、基礎的な計算の定着に個人差がある。
- 理科**⇒実験結果を基に、ものを作ることや身近なものがどの性質を活用しているか考えることを通して、得られた知識と身近な生活における事象がつながってきた。

## I 大田区学習効果測定の調査結果と概要

△：正答率の平均が目標値を上回った教科・観点

≒：正答率の平均が目標値と同程度の教科・観点

▼：正答率の平均が目標値を下回った教科・観点

教科	国語			社会			算数			理科		
全体	△			≒			≒			≒		
観点別	△	△	△	≒	△	△	≒	△	≒	▼	△	≒
	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度									

### 1 教科全体

国語と算数と社会は、正答率が目標値を上回った。昨年度も3教科については、目標値を上回っていたため、これまでの基礎学習がしっかりと定着していることが見られる。一方、理科の知識・理解については、目標値を下回る結果だった。学習を通して得られた知識と身近な生活における事象がつながっていないことが考えられる。単元の最後に学んだことを生かして、ものを作ることや身近なものがどの性質を考えているか等を取り入れていく。

### 2 観点別

4教科における観点別正答率は昨年度と同様、上回るものがほとんどであった。しかし、理科の「知識・理解」は昨年度の校内平均を下回る結果となった。学習を通して得られた知識と身近な生活における事象がつながっていないことが考えられる。単元の最後に学んだことを生かして、ものを作ることや身近なものがどの性質を考えているか等を取り入れていく。

## II 教科ごとの授業改善プラン

### 1 国語・社会・算数・理科

#### 【国語】

国語では、全観点で目標値を上回っている。特に指定された文章量で文を書くことでは、区内平均よりも約15ポイント上回っている。しかし、言葉の学習において敬語、和語、漢語等の知識・技能では、区内平均を少しだけ上回る結果となった。言語への理解を向上させるために、読書時間の確保、言葉の意味調べ、ペ

アやトリオ、グループでの話し合いの充実などに重点を置いて活動していく必要がある。

## 【社会】

社会では、全観点で目標値を上回っている。特に特色ある地域の様子については目標値を約8ポイント上回り、資料を活用した学習が身に付いていることが分かる。半面、都道府県の様子に関しては、目標値よりも約6ポイントも下回る結果となった。結果から、地理的な要素を踏まえた調べ学習を強化し、基礎的な知識量が向上するように、地図帳を授業で活用するなどの授業展開の工夫が必要である。

## 【算数】

算数では、全観点で目標値を上回っている。特に簡単な場合についての割合は、目標値よりも8ポイント上回っている。学年の傾向的に、計算領域よりも図形領域に対しての苦手意識をもつ児童が多く、得意としている児童との差が大きい。そのため、基礎的基本的な問題を反復して解くことで苦手意識を克服すること、具体物の提示はもちろん、ICTの積極的な活用を行っていく必要がある。

## 【理科】

理科では、知識・技能が目標値を下回る結果となった。特に天気の様子や動物のからだのつくりと運動では、目標値を約5ポイント以上下回っている。今後は、天気などの自然現象や動物のからだに関して、資料やICTの積極的な活用を行っていく必要がある。その他においても、基礎的な知識に不足がある。重要な言葉や実験方法等、細かく反復指導を続けていく。

## 2 音楽・図工・家庭・体育・外国語

	児童の実態	おおむね良好：○ 改善が必要：△	授業改善プラン
音楽	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの練習や、ふさわしい声を意識して歌うことに積極的に取り組んでいる。</li> <li>・コロナ禍で経験値が少ない分、タンギングが不十分な児童が多い。</li> <li>・個人差が開いてきた印象があり、好きな子はどんどん練習をすすめる一方で、苦手意識のある児童は取り組むまでに支援が必要な場合が多い。</li> </ul> <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムアンサンブルや即興演奏では、グループ活動を通して意欲的に取り組んでいる一方、感じたことや思ったことを言葉で伝えることには消極的である。</li> <li>・自分の演奏をさらに良くするための音楽的な気付きができる児童が少ない。</li> </ul> <p>●主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年合唱・合奏に、積極的に取り組む様子が見られた。</li> </ul>	<p>○</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>△</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タンギングに特化して習方法を提示し、取り組む機会を設ける</li> <li>・個別の課題を設定して、苦手な児童にも成功体験をもたせる。</li> <li>・音楽用語やいくつかのキーワードを用いて練習を促し、気付きにつながるようにする。</li> </ul>
図工	<p>●知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道具の正しい扱い方を身に付けようとしていたり、新しい技法を知り、すすんで取り入れようとしていたりしている。</li> </ul> <p>●思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いや考えを言葉で表現し、伝えることが苦手な児童が多い。</li> <li>・友人の作品のよさを見付けられる児童は多いが、それを言葉で表現することが苦手な児童が多い。</li> </ul> <p>●主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>○</p> <p>△</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技法に対して、児童が分かりやすい説明の仕方を考え、指導する。</li> <li>・作品のめあてを意識させ、それにあつた振り返りや鑑賞ができるように指導する。また、鑑賞に適した語彙を提示する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形に関心を持ち、粘り強く取り組む児童が多い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が興味を持ち、意欲的に取り組み、深く追究できる題材を用意する。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科で学習したことを土台として家庭生活においても具体的に生かすことが大切であることに気付いた児童が多い。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生活において、学習したことを活かした生活の工夫等の発展的活動までできている児童が多く、お手伝い大作戦で早速、活用している児童もいた。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことについて家庭生活中で具体的に実践し、喜びを味わっている児童が多く見られるようになっている。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを実際の生活に活かせるような学習計画を立てる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動自体が苦手な子が多い。また基礎体力がしっかりと構築されておらず、体の使い方など技能面が、なかなか定着できない児童も多い。運動のポイントについての理解を深めようと挑戦する心は徐々に育ってきている。自分の課題を明確に捉えることができるようにさせたい。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動のポイントや仕組みを見付けさせたり、考えさせたりすることで、自分の課題を明確にし、「何を・どのように」練習すればよいか、考えることができてきている。自身を振り返り、的確に次回への目標や、必要な動きを考えることができる児童が見られた。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に対する前向きな姿勢が見られるようになった。できないことをそのままにせず、友達と協力し合って取り組む姿が見られた。</li> </ul> </li> </ul>	<p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身に付けた知識を生かし、運動と結び付けながら繰り返し運動させることが必要である。主運動を行わせる前に、ランニングやストレッチ、補強運動などを毎授業内で取り入れ、必要な基礎的な動きを身に付ける。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語や、文法など、正しく使える児童が多い。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○</p>	

